

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひなたぼっこ・相生①

目標達成計画

作成日: 2021(令和3)年 11月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	管理者は、職員会議などで職員の意見や要望等を聞いてはいるが、今年度は定期的な面談を行っていないことから不十分である。	定期的な面談を行うことで、会議では言い難いことを引き出せるようにする。	年2回の職員面談を行う。1回目は12月、2回目は6月	12ヶ月
2	8	コロナ禍で馴染みの人や場との関係継続の支援ができにくい環境である。	入居者が少しでも家族や知人との面会ができたり馴染みの美容室などに行けるようにする。	これまでに行っている電話の取り次ぎやオンライン面会をさらに積極的に活用する。ワクチン接種も進んでいることから、面会や外出などについて柔軟な対応を検討する。	12ヶ月
3					
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひなたぼっこ・相生②

作成日: 2021(令和3)年 11月 6日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域との付き合いについて、現在はコロナ禍にあり、日常的に交流することができていない。	高校生の実習やボランティアの受け入れを行い、地域との関りを作る。	コロナ感染症が収束し、制限がなくなれば、以前のように高校生の実習生を受け入れたり、ボランティアの受け入れを行い地域との交流を深める。	6か月
2					
3					
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。